



研究の背景と目的

花街は... 日本の伝統的な文化や建築等を包括的に継承する貴重な空間
＝都市の文化的景観

背景

⇓ 近年は衰退傾向だったが...

- ・伝統文化の継承
- ・国内外向けの観光振興
- ・地方創生 としての価値が再評価！

目的

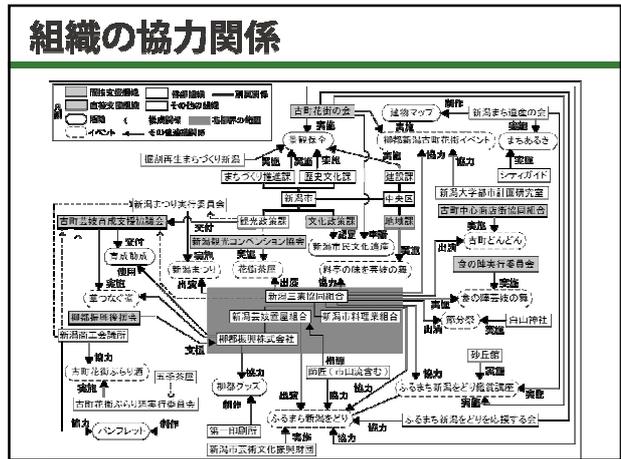
⇓

花街における**地方創生手法**の実態を明らかにする

研究の方法

全国47の花街を対象として以下の項目を調査

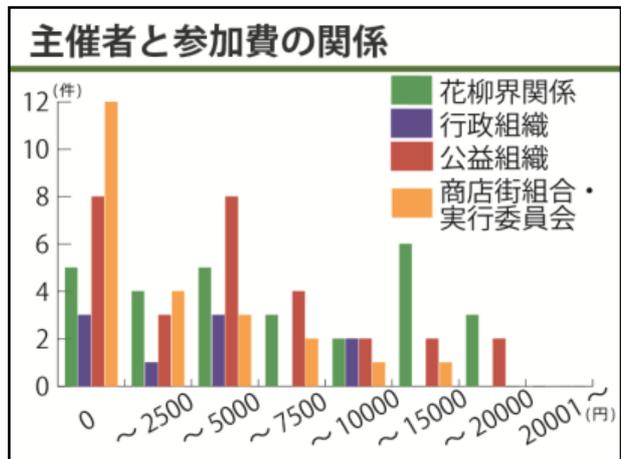
- ①花街関係者と官民
 その他の**組織間の協力関係**
- ②**一般公開イベント**の実施状況
 および運営体制
- ③お茶屋、料亭、検番、歌舞練場などの
 建築物の**観光振興向けの活用方法**



イベント定義と開催数

本研究では
 芸妓が出演するものを花街イベントとする

花街イベント 花街数 39箇所 イベント数 271件	7つの条件 → ・開催目的 ・参加しやすさ	一般開放イベント 花街数 26箇所 イベント数 94件
----------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------



主催者と参加費の関係

花柳界組織：30件

- ▶ 幅広い価格帯で開催
- ▶ 参加費 **1万円以上**のイベントあり

花柳界以外の組織：84件

- ▶ 5千円以下が **7割弱**
- ▶ 参加費**無料**が最も多い

一般開放イベントの分類



一般開放イベントの分類結果

		食事			合計
		1 あり	2 軽食程度	3 なし	
会場	A 料亭・ホテル	19	1	2	22
	B 料亭以外の花街建築	11	3	11	25
	C 一般建築物等	9	8	30	47
	合計	39	12	43	94

▶ 会席が集中
▶ 1万円以上が多数

一般開放イベントの分類結果

		食事			合計
		1 あり	2 軽食程度	3 なし	
会場	A 料亭・ホテル	19	1	2	22
	B 料亭以外の花街建築	11	3	11	25
	C 一般建築物等	9	8	30	47
	合計	39	12	43	94

▶ 会席が集中
▶ 1万円以上が多数
▶ 食事なし多数
▶ 無料イベント多数

一般開放イベントの開催実態

調査対象 開催経験の多い組織を対象に11イベントの実態を調査

参加者の傾向

- ・昼頃のイベントでは6/8件で**女性**が半数以上
- ・年齢層は **50~70代**が中心
- ・**リピーター**は7/11件で3割以下

結論

- (1)花街には多様な組織が関与
- (2)一般開放イベント94件確認
- (3)高額参加費で料亭開催、料亭以外で参加費無料などがある
- (4)参加者は50代以上、昼は女性が多い
- (5)多様な建築が会場として活用